

2015年10月9日

参加登録者の皆さまへ

第2回情報学教育フォーラムのご参加に際して

情報学教育フォーラム実行委員会

はじめに

新しい時代に対応した新しい情報教育の在り方の検討を目指して、2015年5月31日に、第1回情報学教育フォーラムを開催しましたところ、多くの皆様のご関心を頂戴しましたので、第2回情報学教育フォーラムを開催できる運びとなりました。お忙しいところ、参加申込をして頂きましてありがとうございます。

本フォーラムは、個人が自由に参加できる形態とし、公募による懇談会としています。従いまして、その人数には自ずと限度がありますが、工夫を施して、結局、第1回の約1.5倍の参加者数となりました。

ご参加に際して

本フォーラムは、会場大学のセキュリティの関係で、事前に参加登録をされた方のみが入場できます。参加申込(事前登録)のない方は、入場・入室ができませんのでご注意ください。また、会場は、「指定席」とする予定ですので、ご自身のお名前を確認してご着席下さい。

なお、懇談会の重点項目などについて、簡単なご意見を頂戴したいと思います。着席の後、ご意見(票)にご記入いただきまして、スタッフにお渡し下さい。また、ご意見(票)は、Webサイトに掲載しておりますので、あらかじめご記入頂いて当日ご提出されても結構です。

情報学教育フォーラムについて

今回のフォーラムは、①関係する内容の講演と、②公募による懇談会がセットになった新しい方式の会議です。講演は2件で、1件あたりの時間は短いですが、その後にて展開する懇談会の序章になります。

今回の懇談会では、キーノートとして2名程度の先生のコメントを頂戴する予定です。また、今回の懇談会では、3つの重点項目を設定し討論(懇談)をお願いする予定ですが、結論を出すことを目的としていません。しかしながら、この時期に本研究会の活動に関心をお持ちいただき、多忙な中でもフォーラムへの参加を希望されたご厚意に対応することが重要だと考えております。

そのためには、一定の見解や知見(方向性)を示すことは必須ですが、それは本研究会の今までの実績を活用することができるかもしれません。重要なことは、課題の整理とその解決の方向性の確立(指針やガイドラインなど)にあると考えております。

情報学教育研究会では、既に多くのプロジェクトを立ち上げ、一定の研究成果をあげています。時にはその成果を示しながら、評価を頂戴して整理することも重要かもしれません。

今後は、・・・

数ヵ月後を目途に、懇談会での展開をベースに成果をまとめて、「情報学教育論考」第2号(以降では、論考と呼ぶ。)を発行する予定です。これは、懇談会にて貢献された方々を中心に協議しながらまとめるとともに公募による原稿も頂戴するとともに、情報学教育研究会の成果も加えて、まとめたものいたします。

論考の内容は単なる実践報告ではなく、フォーラム(懇談会)の重点項目を中心に「まとめ(その2)」を作成するとともに、それをベースに、「指針(その2)」を示すことに力点を置きたいと考えております。

なお、今回のフォーラムは前回に続いて新しいイベントとなりますが、工夫しながら効果的な運営を模索したいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜れば幸いです。

ご意見（票）

氏名 _____ 所属（役職等） _____

※重点項目は1つ以上にご意見をお書き下さい。また、時間があれば【その他の課題】にもご記入下さい。

※項目ごとに切り離しますので、記入された項目には、それぞれ署名をお願いします。

【重点項目】

項目	ご意見
(a) 情報学教育における 高大接続と連携 (署名: _____)	

(b) 文理融合の情報学 (署名: _____)	
---------------------------------	--

(c) 高校で教えるべき 教科「情報」の内容 (署名: _____)	
--	--

【その他の課題】

(d) 大学における情報 学教育 (署名: _____)	
------------------------------------	--

(e) 情報社会のモラル と安全 (署名: _____)	
------------------------------------	--

(f) 日本独自の先進的 なK-12 カリキュラム (署名: _____)	
---	--

(g) 親学問としての「情 報学」と学校教育 (署名: _____)	
--	--

(h) その他 (署名: _____)	
----------------------------	--